三重県議会議員
いしがき　ともや
石垣 智矢
県政活動報告

TOMO-NO-WA
智の輪
～ 地域の輪が次の時代を創る ～

Vol.5　2023年（令和5年）　秋号
編集・発行責任者 / 石垣智矢　住所 / 三重県員弁郡東員町北大社801
TEL・FAX / 0594-41-2477　E-mail / toinman1105@gmail.com



6月 石垣ともや一般質問

① 令和8年度開通予定の東海環状自動車道およびアクセス道路の整備について
② 男性の育児参画について
③ 自転車乗車用ヘルメットの着用率向上に向けて

①令和8年度開通予定の東海環状自動車道およびアクセス道路の整備について



問　東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重県の三県をまたがる高規格幹線道路であり、平成28年の東員IC、平成31年にはいなべ市大安ICが開通し、令和6年度にはいなべ市に北勢IC（仮称）が開通予定となっています。
またアクセス道路は、令和6年度供用開始予定の一般国道421号線や国道365号線の4車線化工事など、沿線地域の最重要路線の整備が進められています。
来年度供用開始予定の北勢IC（仮称）を含む、令和8年度全線開通に向けた東海環状自動車道およびアクセス道路改築事業の現在の進捗状況を伺います。

答　**若尾県土整備部長**
県では国への提言活動や中日本高速道路への要望活動を実施、8月には建設促進期成同盟会による促進大会を開催予定です。秋には沿線市町や地元企業との要望活動を予定しており、今後も令和8年度の確実な全線開通に向けて国などに働きかけていきます。
アクセス道路は、国道365号線の4車線化工事における舗装工事を行っており、バイパス区間は全区間で改良工事を実施、員弁川を渡る橋梁施設工事も完了しています。
なお北勢IC（仮称）のアクセス道路である県道北勢多度線は、4車線化工事がすでに完成しており、今後も県管理道路の更なる充実を図っていきます。

～再質問～

問　アクセス道路は、地域住民の通勤・通学、生活道路としても広く利用される道路であり、地域住民の安全・安心を守ることは大前提の上で道路整備は進められるべきと考えます。
しかし地域住民からは、交通量が増えることへの懸念や大型車両が通学路を通ることへの不安の声などが多く寄せられています。地域住民の声をどのように収集して今後の道路改築事業に反映させていくのか。

答　**若尾県土整備部長**
調査設計の段階から工事完了に至るまで、各段階で事業内容の説明を行いながら、地域住民の方々からご意見を頂戴しています。
このアクセス道路は大型車両が増加する可能性もあるため、安心・安全を第一に、引き続き地域の皆さまに丁寧な説明を行いながら事業を進めていきます。



②男性の育児参画について

問　**(1) 社会全体の意識改革を図るために**
令和4年４月より育児・介護休業法が段階的に改正され、男性の育児休暇がより取得しやすくなり、誰もが育児・仕事に取り組める社会づくりが進められています。
日本の男性育休制度は世界1位と評されていながら取得率は約14％と先進国最低水準であることや、女性の育児時間の方が約4倍も高いことなどから、男性の育児参画は制度利用と意識変革の両面から進める必要があります。
知事は、昭和、平成、令和の「子育て」がどのように変化してきたと捉えているのか。また令和時代の男性の育児参画を進めるために、どのような意識変革の取り組みが必要と考えるか伺います。

答　**一見三重県知事**
私は昭和の子育て世代ですが、仕事を理由にほとんど育児に関わってきませんでした。しかし平成・令和の子育ては、男性が定期的に休みを取り、積極的に育児に関わることだと捉えています。
三重県の育休取得率は9.4％と大幅に減少しているため、回復に注力しなければなりませんが、本県では働く場への理解促進のために、企業主の方との対話の場を早期に設けたいと考えています。
職場での意識改革を図り、男性の育児参画に対する理解促進に繋げていきます。



問　**(2) 男性の育児休業取得促進の取り組みについて**
令和4年10月から男性の育休取得促進を図るため、出生時育児休業制度（産後パパ育休）が開始されました。本県の育休取得率は9.4％と第二期スマイルプランで掲げる目標値17.2％とは大きな乖離がある状況です。育休を取得しやすい環境づくりは企業の対応が鍵を握るところですが、現在の県内男性の育休取得率をどのように受け止め、今後の男性の育児休業取得促進に取り組んでいくのか。

答　**中村子ども福祉部長**
本県の男性の育休取得率低下の要因は、コロナ禍での所得確保を優先する家庭が増えたことが主な要因として推測されます。
育休取得率向上には、企業への働きかけが重要だと考えますが、国の「子ども未来戦略方針案」においても、育休取得を進める体制整備に向けた中小企業への助成措置などが大幅に強化することが示されています。
今後は、県内企業の管理職を対象とした座談会の開催、産後パパ育休の取得事例をイクボス宣言を行う企業等へ横展開を図るなど、取り組みを進めていきます。
また育児の質に関する課題についても、男性の家事・育児をまとめた動画配信や市町で取り組む両親学級の更なる充実化を図るなど、育休取得率と質の向上の両面から取り組みます。

③自転車乗車用ヘルメットの着用率向上に向けて

問　令和5年4月から道路交通法の改正により、自転車乗車時にはヘルメットの着用が努力義務となりました。民間団体による着用率調査では、三重県は全国33位の9％と低水準であり、あらためて命を守るためのヘルメット着用の周知徹底が必要です。岐阜県では、昨年度からヘルメット着用率の実態調査をすでに実施しており、より効果的な取り組みに繋げています。道路交通法改正後のヘルメット着用の周知・啓発の取り組みと実態調査を含めた今後の対応方針について伺います。

答　**難波警察本部長**
本年5月の自転車月間に、久井農林高校・朝明高校自転車競技部員をセーフティバイシクルリーダーに委嘱し、ヘルメット着用の促進を行いました。また大規模商業施設でのプロ自転車チームによる自転車安全教室の開催、交通安全研修センターでの研修会など、自転車利用者への交通ルールの遵守およびヘルメット着用について指導を行ってきました。
今後はヘルメット着用による頭部保護の重要性や被害軽減効果の情報発信も合わせて行うとともに、着用率調査の実施も前向きに検討しながら進めていきます。



令和6年度　開通道路事業

令和6年度開通予定!! 一般国道421号線のアクセス道路の整備が進められています。





三重県が管理する一般国道421号線のアクセス道路が令和6年度開通予定となっています。東海環状自動車道大安ICへのアクセス性を強化するため、また三笠橋の慢性的な通勤渋滞を緩和するため、現在もバイパス整備が進められています。

いなべ市・東員町と四日市市中心部までを最短ルートで結ぶ幹線道路として、4車線化工事が進められています。





いなべ市大安町片樋地区から四日市市小牧町を結ぶ約12kmのうち、今年度冬ごろから東員IC前（東員町長深地区に位置する960m区間）の道路工事が進められ、来年度の秋頃にはこの区間の4車線化工事が完了予定です。

一見三重県知事に県政に関する申し入れを行いました

2023年８月１日

防災県土整備企業常任委員長として一見三重県知事に対し県政運営に関する申し入れを行いました。予算関連では、人口減少対策の推進、物価高騰対策などを着実に進めるための財源確保について。防災関連では、災害対応力強化や地域防災力向上について。

また道路整備関連では、きめ細かな道路除草の対応と通学路の交通安全対策について申し入れを行いました。いなべ市・東員町の皆さまからもたくさんご要望をいただく内容ですので、引き続き地域の声を県政に届けてまいります。





三重県議会「子どもに関する政策討論会議」が新たに設置されました

子どもの政策に関する喫緊の政策課題について、子どもに寄り添った政策立案及び政策提言に関する調査を行うため設置されました。

新型コロナウイルス感染症により、子どもを取り巻く環境が様変わりした中、子どもたちの声や子育て家庭の声を政策に反映させるべく議論を深めてまいります。





ファン駐日ベトナム大使との対談

2023年7月31日

三重県議会日越友好議員連盟の幹事長として、ファン・クアン・ヒエウ駐日ベトナム大使と対談しました。
今年、日本とベトナムは外交関係樹立50周年を迎えます。

三重県の外国人住民数も、1位のブラジルに次いでベトナムは2番目に多く、経済協力や人的交流の拡大など、さらなる関係強化の重要性を再認識したところです。いなべ市・東員町にある企業からも技能実習生や東南アジアへの企業進出等の相談を多くいただいております。

今後も両国の発展および本県との緊密な関係構築に向けて取り組みます。





防災県土整備企業常任委員長としての活動

■新宮紀宝道路熊野川河口大橋連結式典へ（和歌山県新宮市）7月9日

一般国道42号新宮紀宝道路（紀宝町～新宮市）は、大地震を含む災害時の交通確保や救急医療活動の支援、また広域観光促進の道路として令和6年秋頃の開通を目指して事業が進められています。

河口大橋連結が地域の相互発展に繋がり、また三重県全土の道路整備事業がより前に進むよう引き続き取り組みます。



■熊野灘臨海公園「城ノ浜プール」完成式典へ（紀北町）7月16日

熊野灘臨海公園「城ノ浜プール&ビーチ」は、全国的にも珍しい海とプールが一体となった都市公園施設であり、隣接する宿泊施設とあわせて、地域観光にも大きく期待をされる場所となっています。



手前がプールで奥が城ノ浜ビーチ



左から一見三重県知事、中川衆議院議員、山本参議院議員、谷川県議会議員、尾上紀北町長、中森県議会議長、本人▲

主な県内・県外視察調査



◆香良洲高台防災公園整備事業（津市）7月20日

津波等による災害時の一時避難施設として整備が進められ、本年4月に先行して管理棟と屋内運動施設が完成しています。今後は緊急時のヘリポートにもなるグラウンド等の整備が進められています。



◆国道167号磯部バイパス（伊勢志摩連絡道路）

本年7月に貫通式が執り行われたトンネル内および出入り口の工事現場を調査しました。救急搬送時間が大幅に短縮されることから、命を守る道路としても地元から期待が寄せられています。





◆建設業者(株)山下組にて「地域における防災活動について」（志摩市）

災害時には事務所屋上を津波避難施設として解放し、3階は避難所利用ができるよう施設改修が行われています。他にもドローンによる被災者発見訓練、子どもたちの避難道路整備ボランティアなどを継続的に行い、令和4年度みえの防災大賞を受賞しています。



※ドローン操作体験の様子

◆上野遊水池および川上ダム（伊賀市）7月26日

洪水被害が相次いだ上野地区の治水対策として昭和28年ごろから取り組まれ、平成27年に上野遊水池が運用開始、本年3月に川上ダムが完成しています。

近年の異常気象による豪雨災害から命を守るため、そして何よりもそこに住む方々が安全・安心に住み続けることができるように取り組みます。





◆地場産品を無駄なく使う美味しい給食について （静岡県袋井市）

美味しい地元産の食材を学校給食に活かしたいという思いから、地産地消の給食提供を行う静岡県袋井市へ調査を行いました。地元食材を積極的に活用し、地場産使用額は10年で10倍に。食品ロス解消の取り組みとして年間20トンもの野菜余りの堆肥化を実現しています。

食物アレルギー専用調理室による先進的なアレルギー対応など、美味しさと安心・安全な給食提供に取り組まれていました。県内の学校給食にも活かせるよう更なる調査を進めていきます。





子どもたちの日本の伝統文化体験会

東員町　8月8日

日本の歴史や文化を学ぶ機会として、子どもたちの伝統文化体験会を開催しました。工作体験や竹の水鉄砲遊び、渡り鳥である「アオバズク」の野鳥観察など、遊びや日常生活の中から日本の歴史を学ぶことのできる体験会となりました。

体験を通して子どもたちの学びと健やかな成長に繋げるとともに、地域教育の更なる推進に今後も力を注いでいきます。







子どもたちのライフジャケット着用体験会

いなべ市　8月5日

大安町宇賀川にて地域の皆さんと清掃活動を行うとともに、子どもたちの大事な命を守るライフジャケット着用体験会を開催しました。子どもたちは川で泳いだり魚を捕まえたりと、満面の笑みで川遊びを行う姿がとても印象的でした。

水難事故で失われてしまう子どもの命を守りたいという思いから、3年ほど前から着用推進の活動に取り組んでいます。

子どもたちが安心・安全に水辺で遊ぶことができるように、ライフジャケットの着用を習慣づける取り組みに今後も力を注いでまいります。





ごあいさつ

三重県議会議員として2期目のスタートを切らせていただき、早いもので5ヶ月が経ちました。改めてお力添えをいただく地域の皆さまに深く深く感謝を申し上げるとともに、今後も地域の声を県政に届けるべく、粉骨砕身の思いで邁進する所存です。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった4年間、まだまだ感染症の恐怖はあるものの、現在は感染症法上の位置付けも5類に引き下げられ、少しずつ我々の日常生活は戻りつつあります。

しかし、人口減少対策、事業者等への取組支援、教育・文化・観光政策など、この4年間で様々な影響を受けた事案に対して、今一度状況改善に取り組んでいかなければなりません。

また、来年令和6年度にはいなべ市北勢IC（仮称）、大安ICのアクセス道路（国道421号線）、東員IC前のアクセス道路（国道365号線の4車線化）が供用開始予定となっています。

この地域の道路環境も様変わりすることから、今後も皆様から貴重なご意見を頂戴しながら、住み良い地域づくりのために全力で取り組んでまいります。

引き続き、より一層のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

石垣　智矢

現在の役職、主な所属

- 防災県土整備企業常任委員会　委員長
- 議会改革推進会議　幹事
- 子どもに関する政策討論会議　委員
- 三重県議会日越友好議員連盟　幹事長
- 自由民主党三重県支部連合会　青年局長
- 自由民主党青年局中央常任委員会　常任委員

お気軽にお問い合せ下さい

三重県議会議員 石垣 智矢（ともや）事務所

〒511-0257 三重県員弁郡東員町北大社801番地

TEL/FAX：0594-41-2477　E-mail：toinman1105@gmail.com

ホームページ　Facebook　SHIYUANTOMOYA インスタ